

第1回 焼津未来創生総合戦略推進会議 議事録

- 1 日時 平成27年6月2日(火) 13:00~14:00
- 2 会場 焼津市市役所会議棟 101号室
- 3 出席委員 日詰一幸委員、川口良子委員、白石一二郎委員、増田充邦委員
岡村美根子委員、下村信仁委員、門澤奈々委員、岩石ちさと委員
南條和義委員、篠原裕和委員、寺田好秀委員、宮崎浩一委員
土肥潤也委員、鈴木智子委員、山口智美委員
- 4 欠席委員 山田美津子委員
- 5 事務局 杉本未来創造部長、飯塚政策企画課長、山下政策企画担当係長
藤野行政経営担当係長、新村主査

6 会議録

開会后、市長より委員への委嘱状交付を行った。
市長挨拶後、委員より自己紹介を行った。
会長の選出は、互選の結果、日詰一幸委員に決定。
日詰会長の進行により、議事に入った。

議事「人口ビジョン及び総合戦略の策定方針について」及び「策定スケジュールについて」
(日詰会長)

- ・それでは、早速議事の方に入っていきたいと思いますが、今日は初回ということも
ございますので、3番目の人口ビジョン及び総合戦略の策定方針を事務局からご説明いた
だきまして、その内容についてまた後で皆さまからご質問とかご意見を頂戴できればと思
います。
- ・それでは、事務局の方から、人口ビジョン及び総合戦略の策定方針についてご説明いた
だきたいと思います。

(事務局)

- ・それでは議題の3「人口ビジョン及び総合戦略の策定方針について」ならびに議題の4「策
定スケジュールについて」ご説明いたします。
- ・まずは、どのようなものを策定、ご協議いただくかを説明したいと思います。
- ・資料18、19ページをお開きください。こちらは国の資料になります。
- ・資料18ページ上段にありますように、国では長期ビジョンとして2060年に1億人程度
の人口を確保するため、中長期展望を提示しており、19ページに記載の「地方における

安定した雇用の創出」「地方への新しい人の流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」と4つの基本目標を示しております。

- 2008年から始まった人口減少の歯止めや東京への一極集中を是正し、地方の活性化を図ることで、日本全体の成長力を確保していくという目的のもと、地方において「地方版総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかける施策を定めていくものであります。
- 22ページをご覧ください。この地方版総合戦略を策定するため、地域の現状や将来に関するデータを客観的に分析し、行政だけでなく地域の皆さんと意識を共有することで、地域全体で施策を協議、検討していくこととしております。
- このように、地域の人口の現状分析、将来展望をまとめたものが「人口ビジョン」であります。この人口ビジョンの客観的データをもとに、施策の基本目標や、5年先の各政策の成果目標を設定し、毎年効果検証を行っていくことを定めたものが「地方版総合戦略」であります。
- 委員の皆様におかれましては、産業、学界、金融、労働、マスコミといった各分野からお集まりいただき、策定にあたっての意見や、提案を受け、総合戦略に反映させていくため、お集まりいただきしております。
- また、先ほども申し上げましたように、5年先の政策の成果目標を設定し、毎年効果検証を行っていくこととしておりますので、皆様の委嘱期間を2年間とさせていただき、平成28年度における効果検証もお願いするものであります。
- 後ほど説明しますが、本年度は、策定に係る会議として5回、次年度は効果検証の報告とご意見を伺う会議として2回程度を予定しております。よろしく願いいたします。
- それでは、議題の内容について説明いたします。
- 資料3ページをご覧ください。人口ビジョンの策定方針についてです。
- 趣旨は、焼津市の人口の分析をし、過去から現在、また将来の推計を行い、長期的な人口ビジョンを策定することです。
- 2策定内容ですが、(1)として、人口の現状分析を行います。総人口、年齢3区分人口、出生率、死亡や転入転出数などを分析します。また、今後の人口の見通しについても、仮定値を変えて推計し、それぞれ比較検討を行います。
- (2)として、人口の変化が市の将来にどのような影響を与えるかを分析いたします。
- 人口減少の影響としては、空き家の増加であり、小売店舗などの撤退や、公共施設の維持管理においてもどのような影響が出てくるか、また税収の減少による市財政への影響なども考えられます。こうした影響の分析を行います。
- (3)として、人口の将来展望であります。(1)(2)を踏まえ、施策を検討するうえで基本的な方向性を提示するため、将来展望に必要な調査、分析をいたします。内容としましては、4ページになりますが、出産や子育てに関する意識調査結果に基づく分析、地元の高校や大学卒業後の地元就職率調査、首都圏にいる大学生の地元就職への意識調査などです。
- 以上のような分析、調査を行い、現状の焼津市がおかれている状況把握をし、5ページの

総合戦略の策定のための基礎データを作成することが人口ビジョンの策定となります。

- ・(1)の分析については、平成72年(2060年)までの見通しをお示ししたいと思います。
- ・資料40、41ページをご覧ください。
- ・こちらは、国立社会保障・人口問題研究所が公表している地域別将来推計人口(平成25年3月推計)のデータであります。
- ・平成22年に実施した国勢調査をもとに、2040年までの30年間で5年ごとに推計しております。出生、死亡とも推移の幅がありますので、出生中位、死亡中位の仮定で推計されたものであります。
- ・41ページは、静岡県内の自治体を抜粋し掲載いたしました。ご参考にしていただければと思います。
- ・次に5ページ「焼津未来創生総合戦略策定方針」についてご説明いたします。
- ・先ほど説明いたしました人口ビジョンを踏まえまして、平成27年度から平成31年度までの5か年の間に、どのような施策を実施していくか、またその施策を実施することで、こういった効果をあげて、人口減少対策を進めていくのかをまとめた「総合戦略」を策定いたします。
- ・策定する内容であります。人口ビジョンにて現状分析を行いましたので、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策の基本目標(資料10ページ)を考慮しながら、市の政策ごとの基本目標を定めてまいります。
- ・またこの基本目標を達成するための基本的な施策を定め、この施策の効果を検証することができるよう重要業績評価指標(KPI)を定め、進行管理をしていくこととしております。
- ・市としての重要検討項目といたしまして4に4つの項目を記載しております。これにつきましては、先ほども申しましたように10ページの国の基本目標の4つと同様であります。この4つの検討項目を主にしまして、総合戦略内で達成するための具体的な施策を検討していくこととなります。
- ・7ページをご覧ください。人口ビジョン、総合戦略を策定する体制について、ご説明します。左側の庁内組織として、市長を本部長とし、副市長、政策担当部長などで構成する「焼津未来創生本部」と政策ごとの所管する課長、関係する課の主幹、係長級で構成する「分科会・ワーキンググループ」の2つで組織いたします。
- ・ワーキンググループで素案を作成し、作成した素案を本部へ上げ協議、検討するという流れであります。また、本部で協議されたものについて、本日の推進会議でもご説明し、ご意見を伺い、いただいたご意見や提案を本部へフィードバックし、反映させるという仕組みでございます。
- ・続きまして議題の4「策定スケジュールについて」ご説明いたします。資料8ページをご覧ください。
- ・横の表になっており、表の上段に一番左が皆様の「推進会議」その右が庁内組織であります「本部会議」、さらに右が庁内の下部組織であります「ワーキング」、そしてその右に「議会」と記載しております。具体的な日にちが入っている箇所は、すでに実施したものの、ま

たは今後の予定で具体的に予定を設定いたしているところでございます。

- ・現在のところ、皆様の推進会議については、本日を含め、10月末までに5回を予定しております。推進会議につきましては、皆様もお忙しい中でございますので、ある程度事前にお示ししたいと思ひまして、具体的な日にちを示させていただいております。
- ・委員の皆様におかれましては、すでにご予定がある方もいらっしゃると思いますが、万が一ご欠席の場合は、事務局でご説明にお伺いしたいと思っておりますので、基本的にはここに記載の日程で実施すると考えていただければと思ひます。
- ・表をご覧くださいますと、次回の推進会議におきましては、7月3日の庁内の本部会議で人口分析データを説明する予定ですので、それを踏まえて7月17日（金）に人口分析データの説明をし、ご意見を伺いたいと思っております。
- ・このよう形で、一度「本部会議」でたたいた案件を皆様に説明し、ご意見、ご提案を伺っていくというスタイルで予定をしております。
- ・同様に8月24日（月）は、基本目標と講ずべき施策について10月1日（木）には総合戦略素案についてご説明をいたします。
- ・素案についてご意見を伺ったのち、パブリックコメントを行い、広く意見を伺っていき、最終の10月30日（金）に策定のご報告としたいと思ひます。
- ・以上で議題3、議題4の説明を終了します。

（日詰会長）

- ・ありがとうございました。
- ・議題3と4を一緒に今ご説明いただきましたけれども、最初の3のところの焼津未来創生総合戦略策定の方針とその具体的なイメージということで、P18, 19あたりからご説明いただいておりますけれども、この内容につきまして、何か皆さんの方からご質問あるいはご意見がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

（川口委員）

- ・P5ですが、焼津未来総合戦略策定方針の4.重点項目で、上3つは非常にどれも難しい問題ばかりだと思うのですが、かなり絞られているので分かるのですが、4つめの「時代に合った地域づくりと地域連携」の議論が、どういう議論になるのかしらということです。重点的に議論しなくてはいけないということに掲げられているのですが、ちょっと理解するのが難しいなと思つたことがあります。
- ・まず、「時代に合った地域づくり」というところで、焼津市さんとしては大きな方向性のまちづくりの方針等は立てられているかと思ひます。そういうことが定義されている中で、ここで議論をするべき項目を考えていくのか、あるいは、かなり長期のものになると思ひますので、ここで、今の時代にあった地域とはこうあるものであるといったところの議論がされるのかといった、どちらなのかなということをおもひました。
- ・あと、地域連携についても、地域というのは、非常に漠としております。焼津市内の各地域の地域連携ということではないのかな、ではないよなと思ひつつ、じゃあこの地域とい

うのは、広域連携を視野に入れているのか、広域連携を視野に入れているのならば、例えばどんなエリア設定が想定されるのかといったところを…。今、質問していることは、これから議論することも入っているかとは思いますが、何か事務局さんで大きな方向性があるのであれば教えていただけたらと思います。

(事務局)

- 川口委員の方からご質問が2点ほどございました。時代に合った地域づくりと、地域連携の内容という形ということ。
- まず、後段の、地域連携の部分でございます。こちらは確かに、今の焼津市だけでは、今後の人口減少社会とか少子高齢化社会に対応できない部分がたくさんございますので、連携といたしましては、他市との連携という形でお考えいただければいいと思います。連携の枠組みにつきましては、様々なものがございまして、国の方で、本年度の連携の枠組みを示すという形になってございます。昨年度までは、総務省ベースでは、中核都市であります静岡市を中心としたこの中部圏域という形で枠組みを示しておりまして、国交省の方では、高次機能都市という形で、色々な枠組みがあるよという形で示されております。それがまとまって、これから国（内閣府）でどういう枠組みを示してくるかという形でございますので、今現在はそういった枠組みがございませんが、焼津市としましては、今進めているのは、中部5市2町（静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、川根本町、吉田町）という枠組みで、既に連携と申しますか、そういったところをやっているところでございます。
- それから、もう1つは、この志太平野に位置します志太3市ということで、実際に、教育レベルでは、教育圏というのを志太3市でやっておりますし、古くから結びつきがある地域だという形で、この2地域を想定しておりまして、それぞれ今までも連携をしておりますので、今後、地方創生を踏まえて、どういった連携をしていくかというのは、今、それぞれの枠組みで話をしているところでございます。この10月くらいに、国の連携のあり方が示された場合はまたお知らせさせていただきたいと思っております。そんな形で、焼津市内の地域ということではなくて、連携につきましては他市との連携という形で今色々なことをやっているところでございます。
- 前段の時代に合ったまちづくりというのは、非常に広い解釈でございまして、川口先生のご専門の都市計画の部分も多少ございまして、やはり、ベースには人口減少をしていく中で、これからどういうまちづくりをしていくかという視点がございます。よく都市計画の部分では、コンパクトシティとか、そういったところもございまして、焼津市におきましては、都市計画マスタープランという形で、そちらの方も26・27年度で策定しておりますので、その辺でもお示しすることができます。焼津未来総合戦略の中でも、そのあたりを取りこんでいけたらいいかなという形でございます。
- あとは、小さな拠点といったところもございまして、その辺は、福祉の関係の方のガイドに入っておりますので、戦略を取っていく中で、今後お示しできるところもございまして、主にはそういった観点で、今回の戦略については策定していきたいと考えております。

す。前段の方は、ちょっとまだあいまいな説明で申し訳ございませんが、これからお示ししていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

(日詰会長)

- よろしいでしょうか？補足までですけれども、これはあれですよ、今、皆さまがお持ちの資料の P9 に、特に代表的なもので、まち・ひと・しごとというものがどういうものなのかということ、若干説明していて、I 2 ③のまちの創生といったところにも書かれています。P13 の政策メニュー「(4) 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」の中で、(ア)～(キ)までのいくつかのメニューが入っているわけですが、これは1つこういうものとして考えてみてはどうかという1つの方向性なのだろうと思います。おそらく、聞きたかったことはそれに近いことなのかなと思いますけれども、ただ、この内容については、決まっているわけではないので、この中で議論していただいて、新たなまちづくりのあり方ですとか、地域づくりについて、検討していったらいいかなと思っています。
- 他にいかがでしょうか。何かあれば。あるいは、策定スケジュールのことも含めて。相当タイトで色々あるのではないかなと思うのですが。おそらく、次回が、人口分析の結果を受けて、基本目標とかこうすべき施策の協議のところに入っていくのかなと思うのですが、やはり皆さん、色々な取組とか政策のところにご関心もあるのではないかなと思います。例えばこういう場で、なかなか意見が出ないといった時に、どのような取組みが考えられるか、補足的にお考えでいらっしゃいますか？

(事務局)

- こちらについては範囲が非常に広うございますので、それぞれ事務局の方で、案の方を事務局案という形でお示しして意見をいただく場合と、委員の皆さまから直接意見をいただく場合と2つあると思います。今回の人口ビジョンと戦略の策定につきましては、コンサルさんの方に入っていただく形になっております。三菱 UFJ さんの方をお願いすることが決定しまして、経験豊富なコンサルさんでございますので、全国の主な先進事例とか、そういったところの紹介をしていただければなど。ただ、今回の委託につきましては、主には分析調査という形でございますので、まずは分析調査の方を三菱 UFJ さんにいただいて、それを元に皆さんと一緒に考えていく、その後総合戦略を考えていくという形になります。その中で、助言といいますかそういったところで、それぞれの委員皆さん、コンサルさんの意見をおうかがいしながらやっていきたいと思っています。
- それから、今日はちょっと帰られていないのですが、中部政策局の落合次長の方も、県の総合政策の情報もございますので、そういった情報を色々と入れさせていただきながら、焼津独自の戦略を作りたいと考えております。また、皆さま、こういった情報が欲しいよということがございましたら、事務局の方に言っていただければ、事務局の方でも用意しますし、ご要望等ありましたら、よろしくお願いいたします。以上でございます。

(日詰会長)

- ありがとうございます。やはり、大所高所から見ていくのは大事なことですけれども、焼津の計画ですので、是非委員の皆さまの生活感覚のところから出てくる色んな御意見を、是非大事にさせていただきたいなと思います。
- 他にどうでしょうか。

(南條委員)

- 焼津市の第5次総合計画があると思うのですが、それとは整合性を取るという事で、この会議との整合性というか、どっちが…。その関係を教えていただきたいということと、見せていただきたい。

(事務局)

- 第5次総合計画という形の焼津市の市の施策、総合計画は、平成23年度から30年という形で策定しています。そういった中で、こちらは焼津市の将来像を描いて、実現するための計画でございます。よく、市の最上位計画という形でやってございますが、特に、全ての政策を網羅した幅広いまちづくりの設計書でございます。そういった中で、今回の戦略につきましても、そちらをベースといたしまして、そちらの中で、主に活性化とか、人口減少社会の対応とか、先ほど言いました基本目標の4つ、そちらを実現するための5年間計画という形で、総合計画との関連性というのは、総合計画の一部を実現するための、リーディングプロジェクトというような位置付けで考えていただければいいと思います。
- 総合計画につきましては、来週までに委員の皆さまに郵送させていただきますので、またご覧いただければと思います。
- もう1つ、市の総合計画というか、行政経営の中でも、当市におきましては、それぞれの施策、それからそこについている事務事業という形で、全部で1200くらいありますが、その中で、全ての事務事業に成果指標、アウトプットとアウトカムという形で両方つけまして、行政経営という形で進行管理を既に行っております。今回の戦略につきましても、そういった意味では、焼津市は既に取り組んでおりますので、すぐに取り組めるのかなと考えおります。先ほど、成果指標の話が総合戦略の中でございましたが、そういったところで焼津市は先んじてやってございますので、事務局としても、既に取りかかっているという形でうかがっておりますので、また、報告させていただきたいと思います。HPでも焼津市の行政経営という形で紹介させていただいておりますので、また時間がございましたらご覧いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(日詰会長)

- 南條さんよろしいでしょうか？では、事務局の方から総合計画については皆さまの方へ郵送されるということですので、ご覧いただければと思います。
- 他にありますでしょうか？よろしいでしょうか？
- それでは、今日は第1回目ということでもございますので、次第の方は以上ということに

なります。次回からは、資料も色々出てくるだろうと思いますし、皆さまの意見を色々とうかがう機会もあろうかと思しますので、その前に是非皆さまも色々、研究されたり検討されたりすることがあれば、そのデータを欲しいということで、事務局の方へお伝えいただければと思います。

- 私ごとで恐縮なのですが、実は私のゼミの学生が、今、お手元に配付させていただきましたような調査を去年やりました。あとの方に、私の大学の学生に取ったアンケート調査がありまして、これ実は、静岡新聞さんのこち女のグループの方に見ていただいて、夕刊にちょっと載せていただいたりしたのですが、実は、面白いことに、男子学生の6割ぐらいが、パートナーが望めば専業主夫になってもいいと言っているんですね。これはあくまでも、私の大学の学生の話ですので、他の大学の学生と比較検討はしないといけないとは思いますが、やはり、若い人たちの意識が大分もう変わってきているということは、是非、皆さんもお感じいただければと思います。
- それからあともう1つ、この中に、RESASだったかな、話があるのですが、あれは実は経産省が作った地域の経済分析のサイトなのですが、これは非常に面白いですね。以外とこれは皆さんでもお使いになれると思います。今日の資料の中にも出ていたと思うのですが、(P27)、これは非常に面白いです。画面が出てくるのにちょっと時間がかかるのですが、これを使って、色々自身で分析してみるということができるかもしれません。使い方がもし分からなければ、事務局の方におたずねいただければよろしいかと思えます。こういう風に今はツールが揃い始めておりますので、是非そんなものもお使いいただければと思います。
- それでは、進行の方をお返ししたいと思います。

(事務局)

- 皆さま本日はありがとうございました。次回の会議ですけれども、7/17(金)13:30~とさせていただきます。後日改めて次回会議の御案内をさせていただきますので、ご了承くださいと思います。それでは本日は、誠にありがとうございました。

以上